

—令和5年度の特別項目— (全道大会、地区大会のためのガイドライン)

【基本的な考え方】

- ・各地区の運営は感染状況に応じて対応していただいてもよいが、全道大会では関係地域が多くなるため以下の項目を順守する。
- ・安全を優先して大会運営を行う。(安全を確保できない場合は中止する。)
- ・練習時から、感染予防行動を徹底する。
- ・大会当日朝に競技場及び休憩室に入る際にすべての関係者は発熱、下痢、嘔吐等の風邪症状がある方は会場に入場できません。

【運営】

- ・開閉会式を簡略化し、審判の配置により返し札をできるだけ減らす、札送りを素早く行うなどして、大会の時間短縮に努める。
- ・感染者が発生した場合に備え、当日来場する選手、監督、応援、審判、運営者等の名簿（連絡先を含む）及び会場図を作成する。
- ・参加者、審判、運営関係者及び同居家族に発熱等風邪症状がみられる場合は、大会参加を認めない。
- ・【全道子ども大会】敗者復活戦は行う。

【会場】

- ・換気の整った部屋を使用することを原則とする。
- ・密集を避けるため、選手と応援者、応援者（団体）同士の互いの距離を確保するよう努力する。
- ・会場内の人数が密にならないように検討する。

【選手】

- ・大会の7日前から、感染症に十分注意する。
- ・大会当日、本人及び同居家族等に発熱等の症状がみられる場合は参加を認めない。(監督、応援者も同様)
- ・会場内では、常時不織布マスクを着用することを推奨し鼻を覆うこと。トイレや食事の前後など小まめに手洗いを行う。

【応援】

- ・応援が密集にならないよう、距離を確保するよう努める。
- ・【全道子ども大会】会場内に同時入場できる応援者は希望者とするが、マスクの着用を推奨する。
- ・応援は見守ることを基本とし、大声による声援、鳴り物は認めない。

【競技】

- ・札読みに入るまで、出来るだけ相手との距離を取り、手や頭を下段の仕切り線より前に乗り出さない。
- ・札を取った時の発声は大声を出さない。
- ・札送りの際の相談、審判への申告等、小さな声での最小限の会話に努める。
- ・競技中の水分補給は認めるが、各自で飲み物を用意することとし、回し飲みはしない。
- ・協議中の発熱等の体調不良者が確認された場合はその場所の対戦を中止し、それ以降の継続について

中止も含めて運営者で協議して判定する。

【読み手・審判】

- ・読み手がマスクを外して読み上げる場合は、パーティション等を設置し飛沫の飛散を防止する。
- ・読み手ごとに読み札を用意し、複数人での使い回しをしない。
- ・【全道子ども大会】読み札は複数個用意する。
- ・審判章等については、個別に配付し、使い回さない。
- ・記録表、ペンなどの消毒も行う。

【食事・休憩】

- ・食べているとき以外はマスクの着用を推奨する。
- ・食事は個別に用意し、大皿での取り分けは極力避ける。
- ・大人の方は夕食時の飲酒により声が大きくなることが考えられるが、子どもの大会の関係者として、節度を守ってご協力いただきたい。